

# 平成26年度FD研究検討委員会「コースツリー」勉強会(第2回)

2014.10.20

# コースツリー作成のポイント

松下 佳代 高等教育研究開発推進センター matsushita.kayo.7r@kyoto-u.ac.jp



# 本日の勉強会の位置づけ

- コースツリー作成のスケジュール
  - 平成25年度 機関別認証評価
    - 教育課程の体系化(コースツリーなど)…さらなる対応を要する項目に
    - 教育制度委員会「コースツリーの作成について」(H25.3.31)
  - 平成26年度 整備(便覧・学部HPへの記載まで)
    - 現在提出中のコースツリーを(必要に応じて)修正後、教育制度委員会に 提出し、承認を受ける
      - →修正のポイントを示すのが、本日の勉強会の目的
  - 平成27年度 実施
  - 平成28年度 国立大学法人評価





#### 大学の教育・研究の基本理念の確認



### ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの設定

大学全体(学士課程、大学院課程、専門職大学院課程)のポリシー 各学部・研究科・専門職大学院のポリシー



#### 教育課程の体系化

コースツリーの作成



★ ナンバリングの設定



シラバスの再構成



# コースツリーに求められる要件

(教育制度委員会「京都大学におけるコースツリーについて」)

# •【必須項目】

カリキュラムの年次進行とディプロマ・ポリシー(または学科等において、学生に身につけさせる知識・能力や具体的職業名称等)の関係を体系的な流れとして示し、どの授業科目を履修することで、どの能力に関する目標の達成に繋がるかを明確化する。

#### cf. コースツリー(履修系統図)の定義

「学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との間の対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図」

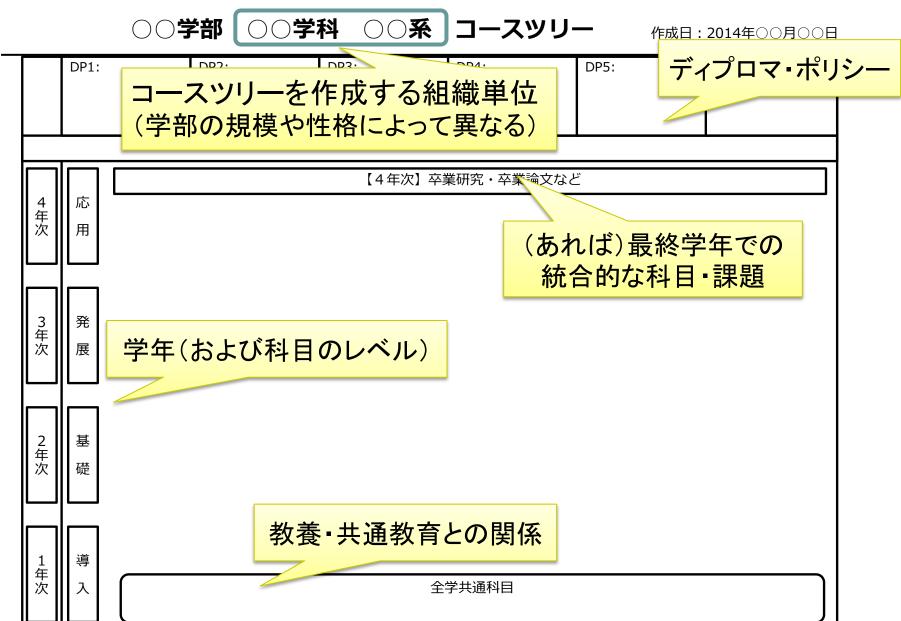


# •【任意項目】

- ①実習・講義等の授業科目をレベル別に色分け等し、学生が識別しやすくする。
- ②授業科目間に矢印を示すことで授業科目間の順次性・関係性を 表す。
- ③隣接する学問分野を隣同士に配置する。(矢印で相互の関係性 を明示するため)
- ④コースツリー上の授業科目名には<u>ナンバリング</u>を付す。←未整備
- ⑤カリキュラムの年次進行については前期・後期別にも記載する。
- ⑥全学共通科目か学部専門科目かを明示し、各授業科目名を色 分け等する。

# コースツリーの構成要素







# 修正ポイント1: DP(ディプロマ・ポリシー)

1-1 DPを必ず書く

• 1-2 DPの書き方を適切なものに修正する

1-3 DPと(その下の組織単位の)教育・学習目標の 関係を示す



- DP(ディプロマ・ポリシー)とは何か?
  - =「学位授与の方針」

- 「学位」とは?
  - 博士、修士、専門職学位、学士、短期大学士の5つ
  - 設置認可[=学位授与権の認可]は、大学の教育上の組織ごとに、授与できる学位の種類及び分野を特定して行われる(大学に対して包括的に学位授与権を与えるものではない)

(大学評価・学位授与機構, 2010)



# • 京都大学で授与する学位

#### 「京都大学学位規程」

- 第1条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士、修士(専門職)及び法務博士(専門職)とする。
- 2 学士の学位を授与するに当たつては、次の区別に従い、専攻分野の名 称を付記する。
  - ●総合人間学部 総合人間学
  - 文学部 文学
  - 教育学部 教育学
  - 法学部 法学
  - ●経済学部 経済学
  - ■理学部 理学

- 医学部 医学、人間健康科学
- •薬学部 薬科学、薬学
- ●工学部 工学
- ●農学部 農学

京都大学には12のDPが必要



### • DPの設定のしかた

「1) 学部のディプロマ・ポリシーを学生主語に書き換え、教育目標を設定する。(学科や講座単位でコースツリーを作成する場合は、学部のディプロマ・ポリシーと学科・講座等のディプロマ・ポリシーとの整合性を図りつつ、教育目標を設定する。)」

(教育制度委員会「京都大学におけるコースツリーについて」)

- <1> DPは、「学位授与の方針」であるから、授与する学位ごとに 設定する必要がある。
- <2> 学位は同じだが、プログラムが異なる場合は、そのプログラムごとにコースツリーを作成してもよい。
  - cf. 学位とプログラムの関係(例:新潟大学の場合)



### DPの設定のしかた(つづき)

- <3> その場合、DPとそのプログラムの教育・学習目標との対応 関係を示す必要がある。
  - \*学科やその下の組織単位でコースツリーを作成する場合は注意! (例)農学部地域環境工学科のDPと学習・教育目標(⑨-3・4)
- <4> DPには、学生を主語として、学生がどんな知識・能力等を身につけていたら学位を授与する方針であるか、を書く。

(例)医学部医学科のDP



# 修正ポイント2: DPと科目の対応関係

• 2-1 DPのそれぞれと各科目の対応関係を示す

2-2 DPとの関係づけを、4年次の卒業論文・卒業研究等に集約するのではなく、DPと他の科目の対応関係についても示す(特に全学共通科目が欠落しがち)

2-3 DPにつながる科目の「体系的な流れ」を示す

# СРЕНЕ

# 修正ポイント3: 見やすさ

- 3-1 学士課程期間全体の履修の流れがわかるよう な全体図を、なるべく1枚にまとめる
  - 科目名のリスト等の詳細は別紙にしてもよい
  - 入学後、系分属等がある場合は、その時期を入れる
  - 複数の系の間の形式に、なるべく統一感をもたせる
- 3-2 その他、見やすさの観点から下記の点に留意 する
  - 読みやすい字のサイズにする
  - 凡例を入れる
  - 色に情報を含む場合は、モノクロ印刷にした場合の情報の 消失に注意する

#### 参考資料

- 中央教育審議会 (2008).「学士課程教育の構築に向けて(答申)」. http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm
- 中央教育審議会 (2012).「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて~生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ~(答申)」.
  http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 大学評価・学位授与機構 (2010). 『学位と大学ーイギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・日本の比較研究報告―』
  - http://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/09/01/no8\_gakuitodaigaku.pdf
- 新潟大学の主専攻プログラム
  http://www.iess.niigata-u.ac.jp/program/program01/index.html
- 京都大学の学部ディプロマ・ポリシー
  http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/policy/de\_policy/gakubu\_de